

# おう吐物・ふん便処理マニュアル

おう吐物やふん便には、食中毒や感染症を起こす細菌やウイルス等が含まれているおそれがあります。特に、ノロウイルスは感染力がとても強いので、処理をする人や周囲の人への感染拡大を防ぐために、適切な処理が必要です。

東京防災公式キャラクター  
『防サイくん』








## 用意するもの

- ・使い捨てマスク
  - ・使い捨て手袋（ないときは、ビニール袋等を用い、直接手で触れないようにする。）
  - ・使い捨てエプロン（ないときは、ゴミ袋に穴をあけてかぶるなど、汚物が衣類につかないようにする。）
  - ・拭き取り用の布やペーパータオル（ない場合は、新聞紙など）
  - ・ゴミ袋
  - ・塩素系消毒液（塩素系漂白剤等を希釈）<sup>\*</sup>
  - ・バケツ
- <sup>\*</sup>ハイター、ブリーチ、ブライト、ピューラックス、ジアノックなど

動画で見たいときは  
こちらから



## 処理手順

- 1 汚染場所に近づかないよう、周囲にいる人を遠ざける。窓を大きく開けるなどして換気する。
- 2 処理をする人は使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用する。可能であれば、靴底が汚染されないよう靴カバー（ビニール袋など）を靴の上から履く。
 
- 3 バケツに水を入れ、塩素系消毒液（0.1%）を作る（資料8）。
- 4 使い捨ての布やペーパータオル等で外側から内側に向けて、汚れた面を折り込みながら静かに拭き取る。  
汚れた面でこすると汚染を拡げてしまうので注意する。
 
- 5 使用した布やペーパータオル等はすぐにごみ袋に入れ、処分する。  
（ごみ袋に塩素系消毒液（0.1%）を染み込む程度に入れ消毒するとよい。）
 
- 6 新しい手袋をして、汚物がついた床とその周囲（半径2m程度）を、塩素系消毒液（0.1%）を染み込ませた布やペーパータオル等で覆うか、浸すように拭く。<sup>\*</sup>塩素系消毒液は金属を腐食するので、ふき取り後10分程度たったら水拭きする。
 
- 7 処理後は手袋を外して手を洗い、乾燥後、手指を消毒する（資料11、多言語版:12）。手袋、マスク等は、使った布やペーパータオル等と同じように処分する。
 

## 注意点

- 汚物で汚れた衣類は、廃棄するか、マスク、手袋をしたうえで、バケツなどで静かに水洗いし、汚れを十分落とした後、塩素系消毒液（0.02%）に30～60分浸すか、85℃で1分間以上になるように熱湯消毒し、その後、ほかのものと分けて洗濯する。
- 塩素系消毒液でカーペットや衣類を消毒すると変色したり傷むことがある。
- おう吐物の処理後48時間は、下痢やおう吐などの症状に注意し、調理作業は避ける。